

Q

お風呂の手すりもさびることがあるの？

A

手すりを含め他の金属部品は、さびることがあるので注意が必要です。ステンレスや鉄製品の場合、赤茶色(小さいものは黒く見えることもある)のものがさびです。

初期の段階のさびは、クリームクレンザー等で除去することができますが、進行すると除去することが困難となり、修復するには部品交換が必要となります。またさびを放置すると、周囲の他の金属部品をさびさせたり、樹脂部品へのさび移りの原因ともなるので、早めに除去することが必要です。

解説

■ さびの主な原因は以下です。

・ もらいさび

カミソリやヘアピン、スチール缶等のさびやすい鉄製品のさびが他の金属に移り、本来さびにくい金属がさびてしまう現象です。

さびやすい鉄製品を浴室内に放置しないようにしましょう。

もらいさびの原因となる物質には、水道管からの鉄粉、鉄分を含む粉塵やチリであることもあります。

・ 塩素、硫黄分の残留

「塩素系」の表記のある洗浄剤や薬剤、硫黄分や塩分の入った入浴剤等に含まれる塩素や硫黄分は、金属の耐食性を著しく低下させ、さびを発生させます。

これらのものを使用した場合、使用後残留しないように大量の水で洗い流すようにしましょう。

なお製品によっては、これらのものの使用を制限していますので、使用している製品の取扱説明書やホームページをご確認ください。

■ さびは金属の腐食(化学反応)生成物です。金属の種類によってさびの色は異なりますが、同じ現象です。

ステンレスや鉄のさびは赤茶色、アルミニウムのさびは白色、銅や銅系の合金(真鍮、青銅)のさびは「緑青ろくしょう」と呼ばれ青緑色をしています。

■ 浴室では多数の金属部品が使用されています。

めっきや塗装品もあり、外観での判断は非常に困難ですが、正しい対応をするためには素材の把握が必要です。

使用されている金属部品の種類や使用されている素材、お手入れの方法の詳細は、使用されている製品の取扱説明書やホームページをご確認ください。

・ 使用されている金属部品の例

手すり、タオル掛け、ランドリーパイプ、シャワーフック、各種固定金具やネジ
ドア枠・レール、ドア、水栓

一口メモ

さびに関する類似事例

なんでも相談Q&A「ステンレスはさびないと思っていたのに、さびるのはなぜ？」

https://www.kitchen-bath.jp/wp-content/uploads/2018/03/sk01k0001_00.pdf